

2016年度

■ 授業題目	
論理と集合	
■ 申請コード	■ 単位数
70010	2
■ 授業種別	■ 履修開始年次
講義	1
■ 履修期間	■ 時間割
第1学期	木3
■ 区分等	
平成28年度以降入学生	平成27年度以前入学生
専門教育) 専門科目	共通専門科目) 基礎科目
■ ナンバリングコード1	■ ナンバリングコード2
■ ナンバリングコード3	■ ナンバリングコード4
■ ナンバリングコード5	■ ナンバリングコード6
■ ナンバリングコード7	■ ナンバリングコード8
■ 地域関連科目区分	
■ 履修における注意点	
平成27年度以前入学生は共通専門科目「論理と集合」に読み替える。	
■ 資格等	

■ 副題

【テーマ(日本語)】

【テーマ(英語)】

■ 担当教員

担当教員名	所属	電話番号	E-Mail
土基 善文	理学部	非公開	非公開

■ オフィスアワー

木曜2限。
確実を期したいなら予約すること。

■ 学生相談場所

理学部2号館513 土基研究室
または512 学生控室

■ 履修希望学生に求めるもの

主として理学部学生を対象とする。

■ 教員相互参照授業公開日程

【公開できる週】

全て公開する

【コメント】

■ 備考

■ キーワード

集合、写像、関係

■ カリキュラムチェックリスト

【授業科目の主題(簡体書)】

- ・論理についての理解
- ・集合の演算についての理解
- ・写像についての理解
- ・関係についての理解

【授業科目の到達目標とカリキュラムチェックリスト】

授業科目の到達目標	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度等	技能(技法)・表現
証明において論理的な思考ができ、それを正しく表現できる。	◎	◎	○	◎	◎
集合論における基本的な事柄を正しく理解する。	◎				○

■ 授業全体の概要

数学の基礎となる論理の言葉について、集合のはなしを中心に講述する。

■ 授業時間外の学習

集合の演算については、ある程度の習熟が必要である。
各自で補っておくことが望ましい。

■ 授業計画

第1週	授業概要	授業の進めかたは講義形式による。 なお、受講生の理解度や授業の進度により各内容の順序の変更や回数が増減することがある。 授業についての説明、大学数学で使われる記号や用語の基礎知識、命題と論理。
第2週	授業概要	命題と論理。
第3週	授業概要	集合の演算。
第4週	授業概要	集合の演算。
第5週	授業概要	集合の演算。
第6週	授業概要	集合の演算。
第7週	授業概要	集合の演算。
第8週	授業概要	写像。
第9週	授業概要	写像。
第10週	授業概要	写像。
第11週	授業概要	写像。
第12週	授業概要	関係。
第13週	授業概要	関係。
第14週	授業概要	関係。
第15週	授業概要	関係。
第16週	授業概要	
	評価のスケジュール	期末試験

■ 関連科目名、関連科目コード番号

■ 教科書・参考書

プリントを配布する。参考書として
集合と位相空間の基礎・基本
小林貞一・逸見豊著
を挙げておく。

■ Webテキスト (URL)

<http://www.math.kochi-u.ac.jp/docky/kogi/>

■ Webテキスト (説明)

講義の要約が掲載される予定である。

■ 成績評価の方法

小テストの結果(60%)と期末試験(40%)により理解度を評価する。

■ パソコン必要度

まったく必要ない

【コメント】